

●このまちが出来るまでの物語



●位置・地勢

徳島県の西部(県都徳島市から約40km)に位置し、西側が三好市、美馬郡つるぎ町と、北側が阿讃(讃岐)山脈の山頂で香川県と、東側が阿波市、吉野川市、名西郡神山町と、南側が那賀郡那賀町と接しています。市のほぼ中央を東西に四国三郎「吉野川」が流れ、穴吹川など幾多の川が吉野川に流れ込み、その沿岸に平野部があります。北側の阿讃山脈、南側の剣山をはじめ、ほとんどが山地で、総面積の約8割が森林となっており、清らかな水と豊かな緑に囲まれた自然の美しい地域です。

●気候

瀬戸内気候に属し、年平均気温が15.1度<sup>※</sup>と年間を通して穏やかな気候に恵まれています。山間部では、寒暖の差が大きくなりますが、それだけに四季折々の情緒あふれる風景が広がります。

※平成17年データ

●交通アクセス

車での所要時間です。自動車道が利用可能なルートは、自動車道を利用した時間です。

〔脇町エリアへ〕

○徳島、高松市街から約60分

○徳島空港から約50分

○高松空港から約40分

○最寄りインター：脇町インター

○最寄りJR駅：穴吹駅

〔美馬エリアへ〕

○徳島、坂出市街から約70分

○徳島空港から約60分

○高松空港から約50分

○最寄りインター：美馬インター

○最寄りJR駅：真光駅

〔穴吹エリアへ〕

○徳島、高松市街から約60分

○徳島空港から約50分

○高松空港から約40分

○最寄りインター：脇町インター

○最寄りJR駅：穴吹駅(JR徳島駅から急行で約40分)

〔木屋平エリアへ〕

○徳島から約80分(国道438号利用)

○脇町インターから約60分

○JR穴吹駅から約60分

# 池月

美馬市の市名は、郡の名前「美馬（みま）」にちなんでいますが、一説には、この地は古くから馬の産地として知られ、この郡名が付けられたともいわれています。平家物語「宇治川の先陣」において描かれた名馬「池月」も、この地で生まれ育つたと伝えられています。

池月は、沼田の在所の飼い馬を母とし、半田山の暴れ馬を父として生まれたひととき元気な馬。父馬から吉野川の急流で泳ぎを教わり、日々たくましく育っていきました。ところがある日のこと、母馬は沼田の大池に落ちて亡くなる日です。月の美しい夜、母恋しさに大池の土手でたたずむ「池月」。池の中を見ると、母馬の姿があるではありませんか。それは月光に映し出された自分の姿とも知らず、何度も何度も池に飛び込むのです。この姿を見た村人は、馬の名を「池月」としました。後年、宇治川の先陣争いに勝利できたのは、ふるさと吉野川や大池での水練のたまものにも違いありません。ふるさとの山河を礎に、逆境を乗り越えて勝利する「池月」。そんな美しい姿を思わせる「美馬市」の市名です。



# 伝説

●このまちが出来上がるまでの物語



名馬池月母馬の墓跡



池月公園